

## 腸管出血性大腸菌感染症患者の発生について

### 1 発 生 日

発生 令和6年8月9日(金) 速報 令和6年8月16日(金)

### 2 患 者 数

1名 (男、幼児)

### 3 概 要

#### (1)経 過

8月9日(金) 患者(岡山市)は、軟便、腹痛及び発熱の症状を呈した。

8月11日(日) 患者は症状が改善しないため、岡山市内医療機関(病院)を受診し、同日入院。

8月14日(水) 患者は溶血性尿毒症症候群と診断された。

8月15日(木) 検査の結果、腸管出血性大腸菌(O157)によるベロ毒素産生が確認されたため、岡山市保健所に届出。

#### (2)その他

- ・患者は入院中であり、症状は継続中である。
- ・感染源は不明。
- ・現在のところ散発事例と考えている。

### 4 参 考(患者発生状況)

区 分	令和6年1月1日から
岡 山 市	16人
県内(岡山市を除く。)	19人
県 内 合 計	35人

(岡山市の前年同時期の発生状況:25人)

◎報道に関しては、患者等のプライバシーの保護について、特段の配慮をお願いします。

◎岡山県は8月2日に県下全域に「腸管出血性大腸菌感染症注意報」を発令しています。

※ 腸管出血性大腸菌感染症を予防するために

手洗いの励行。(調理前、食事前、用便後)

十分な加熱。(75℃で1分間以上)

をお願いします。

#### 【問い合わせ先】

岡山市 保健管理課 森・山本 直通086-803-1251 内線5751